

# 大堀山城跡(川越市)

おおぼりやまじょうあと

築城年代:室町時代、築城者:扇谷上杉氏

この先をすぐ左に入ったところが大堀山城跡となっている



左に曲がったところ/前方に説明板が立っている





おおほりやまやかたあと  
大堀山館跡

(県指定・史跡)

大堀山館跡は、今から約五百年くらい前の戦国時代に築かれた城跡です。一辺約二百メートル、三重の堀と土塁で囲まれた方形を呈し、この種類の城跡としては埼玉県内で最大級の規模と良好な保存状態を誇ります。

関東の覇権をめぐり争われた戦国時代、交通の要衝を押えることは軍事的・経済的に見て重要な戦略のひとつでした。

大堀山館跡の周辺を見ると、すぐ東には、中世の南関東と北関東を結ぶ主要ルート<sup>1</sup>の鎌倉街道が通っていました。またすぐ西を通る県道は、扇谷上杉氏の川越城と鉢形城<sup>2</sup>(寄居町)、山内上杉氏の五十子陣<sup>3</sup>(本庄市)をつなぐ当時のルートと重なります。

つまり大堀山館跡は、戦国時代の関東における主要なふたつのルートの交わる重要な拠点を押えるという役割を担って築かれた城であったと推定されます。

平成十六年三月二十三日指定

川越市教育委員会

上が北方向



上記平面図の通り、少し進むと堀跡が見えてくる



こんな感じ



左手を見たところ/本郭を囲むように周っている





堀跡を越えて本郭を北方向に進む



すると本郭の北東隅に小祠が建っているのが見える



これは天明社



東側から西方向を見たところ/天明社のすぐ背後に堀跡が巡っているのが見てとれる



反対に西側から東方向を見たところ



この堀跡は本郭の北東隅で直角に折れている/その隅を見たところ



堀跡の隅から堀跡が折れたその先(南方向)を見たところ



堀跡の隅から西方向を見たところ/左手に天明社が見える





さて、本郭から堀跡を渡って更に北方向へ進んでみる



堀跡を渡って振り返ったところ/堀跡の向こうに天明社が見える



北方向へ進むとすぐにまた別の堀跡があるようだ



左手を見たところ/このエリアはこの郭



さて、その別の堀跡(二の郭を巡る)に下りてみよう



かなり広い幅で深さもある堀跡である



その堀跡の左手(西方向)を見たところ/堀跡の左手が二の郭



振り返って東方向を見たところ





東方向へ進むとやはりすぐに南方向へと堀跡が折れている



さて、更にこの堀跡を渡って北方向へ進む/このエリアは三の郭のようだ



振り返って渡った堀跡とその向こうの二の郭を見る



三の郭を北へ進むと更にもう一つ別の堀跡があるようだ



こんな感じ



その堀跡を渡って更に北方向へ進む



これはその堀跡を西方向に見たところ/左手が三の郭



その堀跡を渡って北方向へ進むとすぐに道路が見えてきた/ここにも説明板が立っているようだ





振り返って渡ったその堀跡を見たところ



これは道路を東側から西方向に見たところ/左手に説明板が立っている





# おほほりやまやかたあと 大堀山館跡

(県指定・史跡)

大堀山館跡は、今から約五百年くらい前の戦国時代に築かれた城跡です。一辺約二百メートル、三重の堀と土塁で囲まれた方形を呈し、この種類の城跡としては埼玉県内で最大級の規模と良好な保存状態を誇ります。

関東の覇権をめぐり争われた戦国時代、交通の要衝を押えることは軍事的・経済的に見て重要な戦略のひとつでした。

大堀山館跡の周辺を見ると、すぐ東には、中世の南関東と北関東を結ぶ主要ルートの鎌倉街道が通っていました。またすぐ西を通る県道は、扇谷上杉氏の川越城と鉢形城(寄居町)、山内上杉氏の五十子陣(本庄市)をつなぐ当時のルートと重なります。

つまり大堀山館跡は、戦国時代の関東における主要なふたつのルートの交わる重要な拠点を押えるという役割を担って築かれた城であったと推定されます。

平成十六年三月二十三日指定

川越市教育委員会



ここから下(北方向)へ赤丸の現在地までほぼまっすくに進んできたことになる



さて、ここでもう一度最後に渡った堀跡に戻り、西方向に進んでみることにする



この堀跡もかなりの広い幅と深さもあるようだ/左手が三の郭/堀跡はこの先で左手(南方向)に折れているようだ



左手(南方向)へ折れて曲がって行く/左手が三の郭/土塁の高さが感じられる





ここで振り返って見たところ/右手が三の郭



更に南方向へ進む



これは土塁の上に登って西方向を見たところ/堀跡の深さも感じられる



そこから少し右手(北西方向)を見たところ



さて、更に南方向へ進む



この辺りは両サイドとも土塁は無くなっているようだ



本郭(左手)のエリアの南西隅辺りまで来た/ここで堀跡は左手(東方向)に折れている



南西隅を右手に見ると建設業者の重機置き場が見えた





そこで振り返って東方向を見たところ/前方左手が本郭のエリア



さて、折れて曲がった堀跡を東方向に進んでみる/左手が本郭



途中こんな感じの土橋があった/手前のマウンド/左手が本郭



左手に登り、その土橋を本郭方向に見たところ



更に東方向へ進む



これは二の郭を囲む東側の堀跡



南方向を見たところ/前方で右手に折れている/左手は東側に延びている三の郭



左手の三の郭に登る





すると東側には更に小さな堀跡がある



その堀跡に下りて東方向を見る/向こうは農地になっている



右手(南方向)を見たところ



左手(北方向)を見たところ



さて、これが西側から大堀山城跡のエリアを東方向に見たところ/前方の木々の部分が大堀山城跡



アップで見る



そこで左手を見たところ/高架は圏央道/正面に本応寺別院がある



圏央道高架手前を右手に進む





すると先程の北側にあった説明板(右手)のところに辿り着く/右手が先程来帰ったエリア



道路の説明板がある方と反対側を見ると何やら窪んだところがある



こんな感じ



これは半円形の馬出の遺構らしい



浅い堀の跡と土塁の盛り上がりが確認できる



道路の向こうが本郭などがあったところ



## 参考ホームページ

<http://iyokakuzukan.la.coocan.jp/002saitama/028oohorivama/oohorivama.html>

<http://homepage3.nifty.com/azusa/saitama/kawagoejou.htm#oohorivama>

<http://www.geocities.jp/tsukayan0112/subdir-siropage/ohhorivama.html>

<http://www.geocities.jp/buntovou/f11e-gs/st-f2379oohorivama.html>

<http://www.hb.pei.jp/shiro/musashi/ohhorivama-yakata/>

<http://www.knet.ne.jp/~ats/t/hist/s2/ohori.htm>

<http://blog.goo.ne.jp/hanako1033/e/186ebf89f9acf032b1a2484c90509a6b>

<http://blog.goo.ne.jp/daidi/e/fede1b3bd57a6c12cb7437c3d17337e1>

<http://ckk12850.exblog.jp/675080>

<http://www.obayoshi30.com/Ohoriyamajo.html>

<http://specialweek05291110.blog.fc2.com/blog-entry-2040.html>

[http://blogs.yahoo.co.jp/lunatic\\_rosier/42993160.html](http://blogs.yahoo.co.jp/lunatic_rosier/42993160.html)

<http://minkara.carview.co.jp/userid/199444/car/123193/3417593/photo.aspx>

<http://cmeg.jp/pc/2030>

<http://ameblo.jp/napo-jou/entry-11615183821.html>

<http://www42.tok2.com/home/hakubutukan/musashi/ohoriyama.html>

<http://hva34.sakura.ne.jp/iruma/oohoriyamazvou/oohoriyamazvou.html>



